

てまどりケーブルからローカルな話題や  
エリア情報などをお届けします



# 旅する蝶 「アサギマダラ」

曾爾村

## 不思議な蝶に会える秘密の花園!?

渡り鳥ならぬ渡り蝶アサギマダラが飛来する花畑があります。場所は曾爾村伊賀見の県道沿い。この畑は同地区の住民でつくる「曾爾街道風景づくり隊」が休耕田を整備し、秋の七草のひとつフジバカマを植えて整備したもの。数年前より、アサギマダラが来る9月下旬頃～10月下旬頃に「アサギマダラ歓迎まつり」を開催しています。

## 海を渡る蝶の謎

アサギマダラは、これまで春から初夏にかけて北上し、夏を本州の高原などで過ごした後、秋には新しい世代が南下することがわかっています。その距離は2,000Kmを超えることも。日本と台湾を、国境を越えて移動した事も確認されています。『マーキング調査法』によって移動の足跡が少しずつ判ってきていますが、そもそもなぜ渡りをするのか等、まだまだ謎の多い蝶。謎の解明にロマンを感じて、調査や研究をしている愛好家が全国にたくさんいる魅力溢れる蝶です。



アサギマダラが最も好む花のひとつであるフジバカマは、ピンクがかかった藤色の小さな花がたくさん咲き、乾燥させるとほんのりと桜餅のような香りがします。昔は身近に自生していたので、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。現在では準絶滅危惧種に指定されるほど減っていて、生花店で売られていたり苗が流通したりしています。

フジバカマは有毒物質のピロリジジンアルカロイドを含んでいるので、その蜜をたっぷり吸うおかげで自身が毒を持ち、鳥などの天敵から身を守っていると言われています。

## 蝶が舞う曾爾村の花畑へ

アサギマダラは優しく力強い、独特の飛び方をします。「ヒラヒラ」羽ばたいて飛ぶと言うよりも「フワ～」と優雅に舞ったり、一直線に滑空したり、クルクルと旋回したりと多種多様な飛び方をします。また、好きな花や環境が限られるので、自然に群れで行動しているところに遭遇することもできます。一心不乱に蜜を吸っているのでカメラで捕えやすく、運が良ければ翅(はね)のマーキングを発見できるかもしれません。曾爾村のフジバカマの花畑では、多い日には200～300頭(蝶は一頭二頭と数える)ものアサギマダラが訪れます。この秋は、ぜひ曾爾村へ!

場所: 曾爾村伊賀見  
駐車場: 近隣公園/10台  
見頃: 9月末～10月末/10～15時頃

お問い合わせ  
曾爾村観光協会  
☎ 0745-94-2106



大きさは  
アゲハチョウ  
くらいだよ!

## 北米の渡り蝶

カナダのトロントからメキシコまで約4,000Km、アメリカ大陸を縦断するオオカバマダラ(通称モナーク蝶)が有名でよくテレビで紹介されている。近年の気候変動や森林伐採などで生息数が急速に減少し保護の動きが広がっている。

やどりせし人のかたみか藤袴わすられがたき香ににほひつつ 紀貫之

# Cafe Mt. Maru

店名の由来は、オーナーが丸山さん

🍷  
おススメ♪  
フジバカマ畑まで  
車で約3分

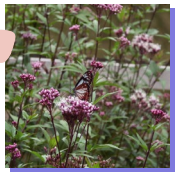
住 奈良県宇陀郡曽爾村伊賀見2276  
営 11:00～16:00  
休 火曜日  
電 0745-88-9519



青蓮寺川沿いにある可愛いログハウス。背には鎧岳、目の前がのどかな川の流れる自然豊かな気持ちいい場所です。曽爾高原の名水で淹れるコーヒーや軽食の美味しさはもとより、店内の雰囲気すべてにさりげないこだわりを感じます。誰かに教えたくなる、でも本当は内緒!しておきたい、そんな隠れ家のお店です。



至名張市



「アサギマダラ」が来る  
フジバカマの畑

ゆったりと過ごしたくなる  
Mt. Maruの空間



鎧岳



フジバカマの畑へ向かう手前  
伊賀見大橋にある店の看板

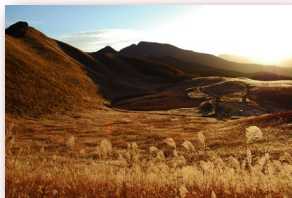
至 369  
御杖・宇陀方面

至曽爾高原

## 曽爾高原山灯り

開催期間：9月中旬～11月中旬

曽爾高原中腹の「お亀池」周辺を約200個の灯籠で遊歩道を照らす山灯り。ススキが黄金色に輝く幻想的な夕景から、やがて暮れゆく満天の星空が。刻々と変化する風景をお楽しみください。



## 色の名前 和の色 日本の伝統色

今回ご紹介した渡り蝶のアサギマダラはマダラチョウの仲間で、翅の白っぽい部分が浅葱色(わずかに緑がかつたうすい青色)に見えるため、この名前が付いています。浅葱とは薄い葱の葉に因んだ色で、平安時代にはその名が見られる古からの伝統色です。幕末に新撰組のダンダラ模様の羽織の色として使用されたことでも知られている人気の伝統色。古来より暮らしの中に多彩な色合いを取り入れてきた日本では、四季の移り変わりや植物、自然現象などを表現した趣のある名前が付いています。色の発生時期や名前の由来など奥の深い世界。美しき日本の文化です。μ

新撰組のダンダラ模様



浅葱色  
(あさぎいろ)



朱華色  
(はねずいろ)



向日葵色  
(ひまわりいろ)



茜色  
(あかねいろ)



利休色  
(りきゅういろ)



萌黄色  
(もえぎいろ)



堇色  
(すみれいろ)

